

2023年12月4日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

Net-Zero Banking Allianceのトランジション・ファイナンス促進に係るレポートの公表について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG)は、MUFGがステアリンググループ^[1]のメンバーとして運営を担うNet Zero Banking Alliance(以下 NZBA)が、本日、トランジション・ファイナンスの促進に係るレポート「Developing Metrics for Transition Finance – NZBA Discussion Paper」(以下 本レポート)を公表したことをお知らせいたします。

1. NZBAとMUFGの活動について

NZBAは、2021年4月に国連環境計画金融イニシアティブ(UNEP-FI)が主催し、世界43の銀行で発足した、2050年までの投融资ポートフォリオにおける温室効果ガス排出量のネットゼロを目指す民間金融機関のアライアンスです。2023年11月末時点で、138社の金融機関が加盟しています。

MUFGは、2021年5月に「MUFGカーボンニュートラル宣言^[2]」を公表するとともに、同年6月に本邦金融機関で最初にNZBAに加盟しました。NZBAへの加盟後は、加盟金融機関の中から地域毎に選出される12の金融機関で構成されるステアリンググループに唯一の本邦金融機関として選出され、NZBAの運営を他のステアリンググループのメンバーとともに担ってまいりました。

また、トランジション・ファイナンスの拡大に向け、2022年1月に設立されたNZBA傘下のTransition Finance作業部会(以下 本作業部会)^[3]では、MUFGは議長として、月次の会合においてトランジション・ファイナンスの推進に向けた議論を牽引してきました。なお、本作業部会では、2022年10月にトランジション・ファイナンスに係る指針^[4]を公表しております。

2. 本レポートについて

本レポートは、トランジション・ファイナンスの拡大を目指すことを目的に、ファイナンスド・エミッション^[5]を補完する指標として、金融機関がトランジション・ファイナンスのインパクトを計量化し、把握・公表することを提案しております。

本レポートのリンク：

<https://www.unepfi.org/industries/banking/developing-metrics-for-transition-finance/>

MUFGは、トランジション・ファイナンスが2050年カーボンニュートラルを達成するための重要な柱であると考えており、NZBAや本作業部会の活動を通じて得た知見・ネットワークなどを活用し、お客様のトランジション支援に貢献してまいります。

[1] NZBAのステアリンググループについては、以下のリンクをご参照ください。

<https://www.unepfi.org/net-zero-banking/members/governance/>

[2] MUFGカーボンニュートラル宣言については、以下のリンクをご参照ください。

https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2021/pdf/news-20210517-003_ja.pdf

[3] Financing & Engagement作業部会より改名。

[4] NZBA Transition Finance Guideについては、以下のリンクをご参照下さい。

<https://www.unepfi.org/industries/banking/net-zero-banking-alliance-transition-finance-guide/>

[5] Scope3の排出量(投融资先の排出量)。